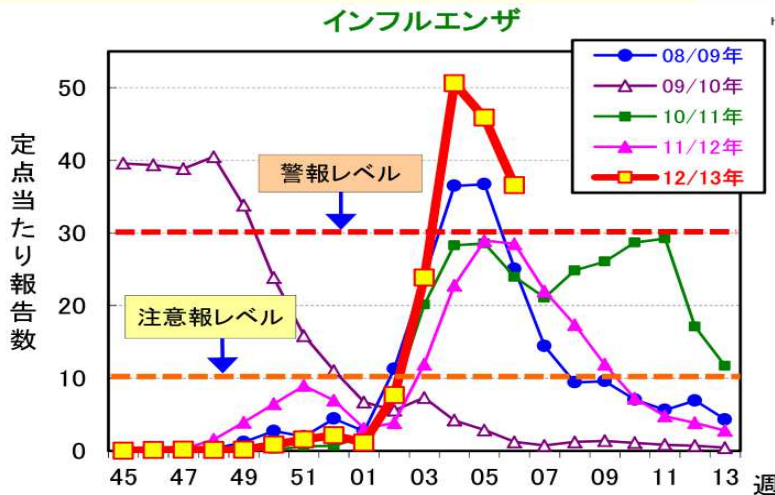


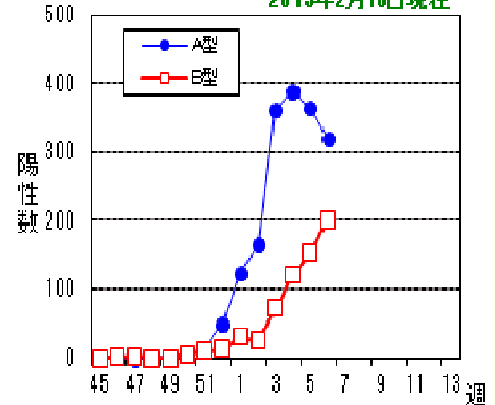
“冬場に流行する感染症にご注意ください”

広島市感染症週報によりますと、インフルエンザの感染症報告が定点当たり 36.6 人と、前週の定点当たり 45.9 人と比べやや減少しましたが、依然**警報レベル**(定点当たり 30.0 人)を超えており、大きな流行が続いています。(2013年2月10日現在)



広島市感染症情報センターより
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

迅速診断キットにおけるA型B型検出状況
2013年2月10日現在



市内の基幹病院 2 か所による迅速診断キット検査結果では、A 型陽性 321 人、B 型陽性 202 人と **B 型の割合が増加**しています

インフルエンザは、感染力が強く、ひとたび感染が流行すると、度々集団発生を引き起こします。引き続き咳エチケットなどの予防も心がけましょう！



“AIDS 研修会開催”

2月8日、広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室の齊藤誠司先生を、お招きし「エイズ診療・看護での基礎知識」研修会が開催されました。



参加された皆さん熱心に先生の講義を聞かれていました。

“安芸地区地域感染対策ネットワーク”

【2月の開催予定】

①2月21日(木) 16:00~17:00

開催場所：マツダ病院

第6回 安芸市民病院・マツダ病院共同開催

合同カンファレンス

②2月21日(木) 18:00~19:00

開催場所：安芸市民病院

第11回 安芸地区地域感染対策ネットワーク研修会